

浜岡原子力発電所における静岡県防災・原子力学術会議の実施について

2016年8月8日

8月6日に、浜岡原子力発電所において静岡県防災・原子力学術会議(※)が実施されましたのでお知らせします。

本会議では、浜岡原子力発電所で現在おこなっている安全性向上対策や、従前から実施している安全対策の取り組みなどの現場確認が実施されました。現場確認では、防波壁や注水ポンプ車による訓練などをご確認いただきました。

現場確認終了後、静岡県防災・原子力学術会議原子力分科会長から、「本日の現場確認で、安全に対する中部電力の強い意気込み・取り組み姿勢が伝わってきた。引き続き、新規規制基準への適合だけで満足することなくさらなる高みを目指して継続的に改善をおこなってほしい。また、防災対策についても充実に向けて国・自治体・関係機関と協力して継続的に改善をおこなってほしい。今後、静岡県防災・原子力学術会議で浜岡原子力発電所の安全性を検証していくにあたっては、重大事故対策・地震対策・火山対策・津波対策・使用済燃料の取扱いの5項目を論点として議論を進め、必要に応じて国からも説明を受けながら実施していきたい。」との講評がありました。

今後も、静岡県防災・原子力学術会議のご意見等を含め様々な知見を浜岡原子力発電所の安全性向上の取り組みに活かしてまいります。



防波壁 現場確認の様子



注水ポンプ車による訓練 現場確認の様子

※ 静岡県防災・原子力学術会議は、静岡県が設置している会議であり、静岡県民が直面する東海地震をはじめとする自然災害と、県下に所在する浜岡原子力発電所に関する防災対策に係る科学・技術について、その取り組み状況を明らかにし、静岡県民に向け情報を発信することを目的として設置されています。

以上